

教科用図書調査研究報告書(道徳を除く)

|        |           |    |    |
|--------|-----------|----|----|
| 教科・種目名 | 社会・(歴史)分野 | 種類 | 2種 |
|--------|-----------|----|----|

( 1 )枚中( 1 )枚

| 採択基準                           | 基本観点                           | 東京書籍(2 東書)  | 自由社(225 自由社)   | 発行者名(番号・略称) | 発行者名(番号・略称) |
|--------------------------------|--------------------------------|---|--|-------------|-------------|
|                                |                                | 歴史 705  | 歴史 711   | 教科書の記号・番号   | 教科書の記号・番号   |
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1) 全体としての特徴や創意工夫              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○冒頭で歴史を促える見方・考え方を示し、歴史学習の基礎・基本が定着できるように配慮している。</li> <li>○各章の冒頭の略年表で、「小学校で習ったことば」「政治」と「経済・社会・文化」「世界の動き」が分かるようにしている。</li> <li>○「問い」を軸にした単元の構造化により、課題解決的な学習が行えるようにしている。</li> <li>○章・節の課題を明確にし、教科書が構造化されている。</li> <li>○年表スケールでどの時代の学習なのか、わかりやすくしている。(見開き左下)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○序章で歴史の捉え方を示し、歴史で何を学ぶかを説明している。</li> <li>○社会的事象を、時期、推移等に注目して捉え、類似や差異等を明確にし、事象同士を因果関係等で関連づけられるようにしている。</li> <li>○学習内容がいつの時代の学習なのかをわかるように、教科書左下に年表スケールで表している。</li> </ul>               |             |             |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。     | (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を「つかむ」「追求する」「解決する」そして、「基礎・基本をまとめる」という流れで基礎・基本の定着を図っている。</li> <li>○つまづき易い事項は、巻末の「用語解説」で説明し、定着を図っている。</li> <li>○資料の読み取り方や調べ学習の手法等を「スキルアップ」で紹介し、技能を活用するコーナーも設け、定着を図っている。(集める・読み取る・まとめる)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各項の下に「チャレンジ」を設けて、学習内容を整理してまとめる課題を示し、基礎基本の定着を図っている。</li> <li>○章ごとに「復習問題のページ」を作り、重要語句の確認と地図上での押さえができるように配慮している。</li> <li>○巻末に「重要用語解説」を設けるとともに、本文中にも用語解説のコーナーを設け、定着を図っている。</li> </ul> |             |             |
|                                | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「問い」を軸にした課題解決的な構成になっている。「探求課題」、「探求のステップ」「学習課題」の3段階で「問い」を構成し、細かいステップで課題を解決している。</li> <li>○歴史的な「見方・考え方」をしっかりと捉え、「チェック＆トライ」「探求のステップ」「探求課題の解決」等の学習場面で働かせ、思考・判断を深める内容となっている。</li> <li>○「見方・考え方」「歴史にアクセス」で深い学びの視点を示している。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○章ごとに「調べ学習のページ」を設け、思考力や表現力等の育成を図る配慮がある。</li> <li>○章ごとに「調べ学習のページ」や「時代の特徴を考えるページ」を設け、章を振り返って深く学ぶ工夫をしている。</li> <li>○コラムとして「外の目から見た日本」を設け、日本を様々な角度から見て知り理解を深める工夫がみられる。</li> </ul>       |             |             |
|                                | (3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末「歴史のまとめ」で、持続可能な社会に向けてまとめる工夫があり、課題解決に向けて主体的に考えられる。</li> <li>○「みんなでチャレンジ」「資料から発見」「スキルアップ」等、対話的な学習の場面や持続可能な社会に向けて構想する学習場面を設けて、より良い社会を築く意識と態度を養えるように配慮している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラム「もっと知りたい」・「人物クローズアップ」を計33か所設け、主体的に学ぶことができるように工夫している。</li> <li>○章ごとに「対話とまとめ図のページ」を設け、対話によって学びを深め、主体的にまとめていく工夫をしている。</li> </ul>   |             |             |
|                                | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○D マークや二次元コードがついている箇所では、二次元コード・URL などからリンクすることができるようになっており、資料から深く考え学ぶことができる。</li> <li>○制度化された学習者用デジタル教科書を発行している。</li> </ul>  |  |             |             |
|                                | (5) 他の教科等との関連                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返る活動を設け、円滑に接続できるように工夫している。</li> <li>○持続可能な社会の実現のために解決すべき課題を、特設ページ「もっと地理・歴史・公民」で3分野にわたって取り上げ、それぞれ関連づけながら考察できる。</li> <li>○同一の写真・グラフ・地図を3分野共通で掲載し、他分野との関連マークで示し、多面的・多角的に考察できる。</li> <li>○他教科の学習との関連個所にはマークを付して連携を図っている。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の冒頭ページで、この章がどの時代まで学習するか、小学校で学んだ人物を中心に振り返ることができる。</li> <li>○巻末に、世界各国・王朝の一覧を資料として掲載しており、世界的な内容を整理している。</li> </ul>  |             |             |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。            | (1) 表記・表現の工夫                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習に必要な情報に集中できるようにしている。</li> <li>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を向上させている。</li> <li>○巻末の見開き年表が使いやすく、見やすい。</li> <li>○色覚特性への配慮を行っている。(文字の縁取り、破線や点線を減らす等)写真・資料が鮮明である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○AB版を採用し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○巻末の見開き年表が使いやすく、見やすい。</li> <li>○教科書の各項で扱われている資料が大きく見やすくしてある。</li> <li>○巻末に「元号→西暦早見表」を掲載し、わかりやすくしている。</li> </ul>                            |             |             |